

リアス・アーク美術館コレクションによる夏期特別展
あれから12年～再読～

ファイト新聞展

2023年8月5日(土)⇒8月27日(日)

リアス・アーク美術館 2F 圏域ギャラリー (観覧無料)

ファイト新聞再読。かつて多くの感動を呼んだ子供たちの物語がありました。時を経た今、改めてその表現の意味を読み返してみたいと思います。

東日本大震災被災地の子供たちはあの日から12年、どのような生活を送ってきたのでしょうか。被災前後で地域は激変し、多くの人が被災地を後にしました。そして同じくらい多くの人々がこの地に足を踏み入れました。新しいまちが築かれていく過程で社会が変わり、人々の価値観も変化しました。新たな日常を生きる私たちは「あの時は見えなかったファイト新聞の新たな側面」に目を向ける時を迎えてます。

東日本大震災を目の当たりにした社会は、被災地の子供たちに未来への希望を託すべく、純真無垢かつ天真爛漫といったステレオタイプな「被災地児童像」を見出そうとしました。そして様々な英雄的活動や逸話が取り上げられた「特別な子供たち」と同様に、ファイト新聞はそのような社会の期待を背負わされることになりました。

特に大手メディアの要望に即応しようと努めた結果、ファイト新聞は一気に全国的に知られる存在となりました。半面、その活動内容は「被災した家族や周囲の人たちを元気にしたい」という当時の素朴な目的から徐々にズレていくことになってしまいました。全50号に亘るファイト新聞の紙面からはそのような変質の経緯をたどることができます。

高揚したファイト新聞の活動時間はわずか2ヶ月ほどで終わり、子供たちは置き去りにされました。そしてひっそりと解散。執筆、編集に携わった子供たちの伝説的ともいえる取り組みを今、一つの歴史として静かに見つめ直すとき、偉大な実績とともに失われた可能態が多くあったことに気付かれます。社会はもう少しだけ、子供たちの自然な成長を待つことができなかったのか…。

本展ではリアス・アーク美術館が収蔵する「ファイト新聞」のオリジナル原稿の一部と、精巧に再現されたレプリカ55点とその他関連資料、解説パネル等の展示を通して、東日本大震災の被災を経験した子供たちが日々感じていた様々な想い、「ファイト新聞」という一つの表現活動が全国的な注目を浴びることで生じた様々な出来事など、その二面性も含め再検証するものです。

なお、本展はリアス・アーク美術館と一般社団法人ファイト新聞社による共同開催です。

みんなスマイル

11日から12日 たちました。

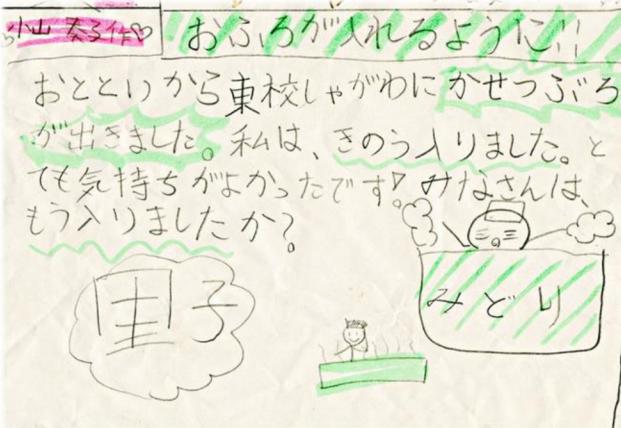
みんな しょくりで はなく

スマイルで

あとの生かをむしましょ。

みんなスマイル

※子供たちが綴った記事。ファイト新聞第1号～第8号より切り抜き。



さいしょは水、でん気がつかえなかつたけどおとといでん気が、水が出た。ついた。よかた。とんじるもあ。たかいものがあまりはんて出なかたかうれしかたです。みんなもうれしかたでね。あたかいよかた。あたかいよかた。



ひなん生活は、ひまですね。

私たち毎日新聞を作りおわったら何もすることがないのです。でもまたにりこへん集長のトランプで遊んでいます。みんなは、何をしていますか?

自えいたいの人たちからおかしをもらいました。

昨日、気仙沼小学校の卒業生に卒業証書がくばらきました!! (西村)

■ 交通のご案内 ■

JR 東北新幹線【一ノ関駅】→大船渡線【気仙沼駅】下車

東北新幹線【仙台駅】→気仙沼線【気仙沼駅】下車

※気仙沼線は【柳津駅】～【気仙沼駅】間をBRT(JR高速バス)にて代替運行。

大船渡線【盛】～【気仙沼】間をBRT(JR高速バス)にて代替運行。

※【気仙沼駅】からタクシー(約15分～)をご利用ください。

※タクシーカード券と当館常設展観覧券引換券のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、(一社)気仙沼市観光協会(海の市2F/Tel:0226-22-4560)で販売されています。

お車 東北自動車道(一関IC)から国道284号線経由約50km

三陸自動車道(気仙沼中央IC)から約5km(仙台市～約115km/石巻市～約70km)

岩手県陸前高田市から約25km(無料駐車場あり(普通37台・大型5台))

バス 高速バス【仙台↔気仙沼】・【一関↔気仙沼】運行中

※仙台～気仙沼間は三陸自動車道経由 ※一関～気仙沼間は国道284号線経由



■ リアス・アーク美術館 <8月> ご利用案内 ■

常設展

○「美術作品展示」当館所縁の作家の絵画・彫刻・版画などの作品約50点を展示しています。

○「民俗資料展示」舟舟日記一海と山を生きるアスなくらし―民俗・歴史資料をもとにアス地域を紹介しています。

○「東日本大震災の記録と津波の災害史」被災現場写真や被災物を展示解説しています。(常設展は有料:一般700円/大学専門学生600円/高校生500円/小・中学生350円)
※20名以上の団体料金は各100円引きとなります。

■ワークショップ=オープンアトリエとして利用できます。

■レストラン「キッチンスペース夢の舎」=地元食材を中心とした創作料理を提供しています。

TEL:0226-24-1611/FAX:0226-24-1448

E-mail:riask.m@nifty.com

URL:<http://www.riask.m>